



# NEWS LETTER



## 連続自治体特別企画セミナー 来年度計画

◆ 現在、検討中です。決まり次第、ニュースレターやHP、Facebookなどでご連絡いたします。

### 後援等について

KPIでは、共催や後援、協賛、協力というかたちで、地方自治体や企業、NPOと連携しながらイベント等を開催しています。

ご希望の方はKPIホームページの「諸手続き」にある、「後援等申請書」にご記入の上、メール又はFAXにてご連絡ください。

京都府立大学  
京都政策研究センター  
〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5

Tel & Fax : 075-703-5319

mail : [kpiinfo@kpu.ac.jp](mailto:kpiinfo@kpu.ac.jp)

セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信しています。ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

2013年3月1日発行

これからの地方自治・地方政策を考える

## 連続自治体特別企画セミナー

### 第5回セミナー

2月20日（木）、「半農半X」からの「ソーシャルデザイン」と題して半農半X研究所代表の塩見直紀（しおみなおき）氏にご講演いただいた後、本学生命環境学研究科の三橋俊雄（みつはしとしお）教授と対談いただきました。

塩見氏からは、自然との向き合い方や、コンセプトの重要性、そして「生命多様性と使命多様性」と「人には生きる意味が必要であること」が半農半Xを表現しているといったお話をしていただきました。途中には参加者の方々が実際に取り組むワークもあり、自分の「型」について考える時間も設けられました。



### ACTR宮津

#### 市長・まちづくり委員会への提言がまとまりつつあります！

「北前船港町・城下町まちづくり構想研究会」は第4回目を1月25日（土）、第5回目を2月25日（火）に開催し、いよいよ終盤に差し掛かってきました！

第4回目は、具体的な提言を作ろうと4つのグループ、『知の観光！丹後由良×北前船プロジェクト』『知の観光！宮津市街地×北前船プロジェクト』『これぞ港町！海の活用プロジェクト』『海とまち、みやびと寄港地！つなぎプロジェクト』に分かれ話し合いました。

第5回研究会は、前回から今回の研究会までの1ヶ月の間に、市民の方にまとめていただいた提言案の資料をもとにプレ発表会をしました。各グループ発表後は、参加者全員で意見交換をしながら提言をブラッシュアップしました。

回数を重ねるうちに、少しずつ研究会の雰囲気も変わり、みなさん以前にましていきいきとお話しているのがとても印象的です。今回は、自作のお土産案を持ってきてくださる方もいらっしゃいました。

最後は3月30日（日）、宮津市長と北前船まちづくり委員会会長を前に、各グループがパワーポイントを使って提言を発表します。今後の宮津に注目です！



### 【参加者の声】

- ・ 大学を卒業し、社会人になって2年目で、久しぶりにわくわくする言葉に出会えたセミナーでした。どのようにこれから先の生き方を積み重ねていくのか、その道しるべになったような気がします（一般）。
- ・ とても興味深い内容で、自分の「X」を考えると、とてもわくわくしました。社会が大変であっても、自分の心が豊かであれば、どのような環境でも楽しくいざられるのではないかと感じました（京都府立大学学生・院生）。
- ・ 一人一研究所という考え方はとてもフレッシュに感じた。常に学びたい（京都府職員）。
- ・ 地元に戻って、有志で「one sheet for X」のワークをして、互いの考えを深めてみたいと思います（京都府外市町村職員）。
- ・ 半農半Xは生き方の方程式だと思いました（一般）。
- ・ 塩見さんと三橋先生の同ジャンルでありながらも、思想を全く同じにはしていないお2人の対談は大変興味深かったです（京都府立大学学生・院生）。

\*セミナーの内容は後日、HPに掲載いたします。





写真は左から、  
 ・佐賀県武雄市ヒアリング調査  
 ・杵藤広域市町村圏組合ヒアリング調査  
 ・川越都市圏まちづくり協議会ヒアリング調査の様子

南丹広域振興局受託研究

佐賀県武雄市へヒアリング調査を実施

「京都丹波の魅力発信・広報戦略研究会」では、京都丹波の魅力をより多くの方に発信するための方策を検討しています。この研究会の一環として、12月26日に佐賀県武雄市のつながる部フェイスブック・シティ課にヒアリング調査に行ってきました。

Facebookで有名な武雄市ですが、Facebookはあくまでもひとつの広報ツールであり、フェイスブック・シティ課ではその管理だけでなく、市報やホームページ、CATVの担当もされています。

Facebookに関しては、写真や情報がリアルタイムに掲載されること、誰でも写真などを掲載できるという特徴を活かし、災害時には市民も行政職員も、それぞれが周りの情報を流し、またそれらを活用しながら、刻一刻と変わる状況への対応を試みたようです。

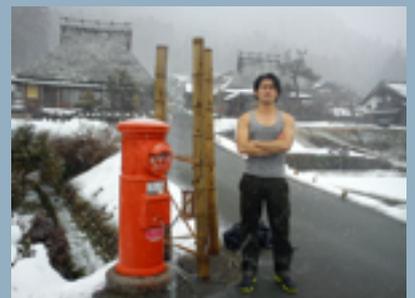
しかしながら、災害時に武雄市のFacebookが力を発揮するのは、平時であっても常に様々な情報（イベントや行政情報だけでなく、武雄市の昔の写真や今の風景など様々！）を流しているからこそ。「日頃の情報発信が大切」だということを、改めて感じました。

良い機会なので、「武雄市図書館」にも行って来ました！ずっといなくなるような、とても素敵な図書館でした。



KPIリレーコラム

今回は、「京都丹波の魅力発信・広報戦略研究会」でお世話になっている、中村さんの登場です！



京都府南丹広域振興局

中村友也

皆さんはじめまして。突然ですが、「公務員は地味」という印象をお持ちではないでしょうか？

はっきり言って私は違います。まず、定期的にケーブルテレビに出演しています。（専門の広報番組を持ち、自ら企画・出演）他の番組でゲスト出演のオファーもあります。

最近話題の、「写ガール隊」の裏方を担っていますが、目立ちたがり屋の本能が疼いていました。つい、趣味の筋トレと地域振興を結びつけた「写メンズ」なるものを結成しました。私の顔が、ここ2ヶ月で新聞に3回掲載され、NHKにも一度出演を果たしました。

それもこれも、私自身が居を構える（大阪からの1ターンです。）京都丹波（亀岡市、南丹市、京丹波町）の地域がもっと良くなってほしい。もっと多くの人に魅力を知って欲しい。という想いから。

これからも「主役」の公務員として走り続けます。出演オファーをお待ちしています。もちろん、公務員ですので出演料は無料です。

検索ワードは、「まゆまると京都丹波」「京都丹波・写ガール隊」「京都丹波・写メンズ」。



大阪ガス受託研究

ヒアリング調査を実施

大阪ガスからの受託研究、「京都府南部地域における自治体広域連携についての研究」の一環として、ヒアリング調査に行ってきました。一連の調査について、簡単に報告します！

杵藤広域市町村圏組合 @佐賀県

杵藤広域市町村圏組合は、人口約16万2千人、3市4町で構成されています。電算センターやクリーンセンター、ふるさと市町村圏基金事業、介護保険事務所など、様々な事業を実施しており、佐賀県内では最大規模だそうです。

組合の職員は、消防職員についてはプロパーが213名、事務局は50人のうち、各市町村からの出向（3～4年の任期）がほとんどですが、5名のプロパー職員を雇用しているとのことでした。

「杵藤」という名称は、杵島郡と藤津郡の頭文字を取ったものですが、消防関係や野球の地区予選でも利用されており、住民には浸透しているようです。



武蔵野市交通対策課 @東京都

ムーバスの路線は、路線バスでの移動確保が出来ない地域を対象として敷かれています。運営主体はバス事業者、赤字については全額市が補填していますが、武蔵野市の考え方としては、「赤字分は多くの人のためになった料金であること、バスで高齢者が街に出て行き、健康でいてもらった方がよいこと、ひいてはそれが街の活性化にもつながる」というものでした。平成24年度のデータでは、ムーバスの乗客は1日平均約7,200人。同年7月3日には、運行16年8ヶ月で乗客数延べ3,000万人を突破しました。

また、当初の目的の他に、課題となっていた駅前の放置自転車問題が、ムーバスの導入により放置自転車問題が解消されたそうです。

他にも、ムーバスは近隣市の三鷹市と小金井市にも乗り入れていること、「パークアンドバスライド」と称して駐車場と街中（吉祥寺駅）をムーバスで繋ぐ仕組みを、駅の大店舗や商店街と共に運営しているなど、興味深いお話を聞くことが出来ました。

川越都市圏まちづくり協議会 @埼玉県

川越都市圏まちづくり協議会は、人口約60万人、4市3町で構成されています。交流事業や研修会、視察に関する事務は、それぞれの市町が担当するかを決め、担当市町が中心となり進めているとのことでした。これ以外の、基本構想・基本計画に基づいておこなわれる事業は、公共施設の相互利用や広報誌相互掲載、人事交流や広域観光の検討など様々ですが、公共施設の相互利用では、川越都市圏の住民はどこの施設も同一料金で利用することが可能となったそうです。

人事交流としては、各市町の若手職員が1人ずつ選出され、各市町間で相互派遣をしています。

KPIのfacebookはアクセスして情報をチェック！

